

第11回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「東アジア美術における転換期の諸問題」
 (The 11th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property-Periods of Transition in East Asian Art-)

美術がひとつの時代から次の時代へと展開した時に、両時代の諸作品に現れた時代的特色の差は各時代の価値基準が変化したことを物語るものである。個々の作品について時代的特色を明らかにしていくことは、文化財としての諸作品の価値、及び価値を表現している技法等を解明するための重要な基礎的研究の一翼をになうものであり、これらの研究の成果は、文化財の保存と修復の事業の成否を左右するほどの重い意義を持っていると言える。

転換期には次の時代を特色づける諸要素を持つ作品も多く、時代の推移が鮮やかに浮かび上がる時期として注目される。そこで東アジア美術における転換期の問題について、専門の研究者の参加を求め、時代別・分野別に4つのセッションを設けて研究発表と討議を行い、文化財の保護と修復に関する基礎的研究の発展に寄与しようと企画されたのが、この研究集会であった。

日程：1987（昭和62）年10月27～29日

会場：東京国立博物館

10月27日

	発表者	演題
1	濱田隆（東京国立文化財研究所）	〔基調報告〕日本美術史の転換期の問題について—古代より中世へ— (Problems of the Ancient to Medieval Transitional Period in Japanese Art History)
第1セッション		
1	関口正之（東京国立文化財研究所）	平安時代末期の仏画に関する問題点 (Problems in Buddhist Painting of the Late Heian Period)
2	Maribeth Graybill（カリフォルニア大学）	信実と後鳥羽院 (Nobuzane and Gotoba In)
3	小川裕充（東京大学）	牧谿筆「観音猿鶴図」の祖型について (Muqi's Use of Chinese Models in the "Kannon, Monkey and Crane Triptych")
4	John Hay（ニューヨーク大学）	趙孟頫一元初における伝統と自我 (Chao Meng-fu: Tradition and Self in the Early Yuan)

10月28日

第2セッション

	発表者	演題

1	Stephen Addiss (カンサス大学)	江戸時代初期への移行期における禅の書画 (Zen Painting and Calligraphy in the Transition to the Early Edo Period)
2	佐藤昭夫 (東京国立博物館)	仏師の動向—江戸から明治へ (Buddhist Sculptors of the Transitional Phase from the Late Edo to Meiji Periods)
3	坂本満 (お茶の水女子大学)	江戸から明治にかけての絵画的表現 (Pictorial Representation of the Late Edo to Meiji Periods)
第3セッション		
1	吉田友之 (帝塚山学院大学)	金碧画の形成—室町前期和様絵画の動向 (Trends in Early Muromachi Period Japanese-style [Wayō] Painting and their Role in the Evolution of Kinpeki-ga ["Gold-and-Blue Painting"])
2	清水義明 (プリンストン大学)	室町時代の詩画軸型式水墨画の諸問題—とくに言語介入を伴う観画経験の一例として (Some Problems of Shigajiku-Type Ink Landscape Painting: Pictureviewing through Written Words, ca.1400-1480)
3	河合正朝 (慶應義塾大学)	小栗宗湛から狩野正信へ (From Oguri Sotan to Kano Masanobu)
4	辻惟雄 (東京大学)	狩野派の成立—社会的存在としての (The Social Context of the Establishment of the Kano School)

10月29日

第4セッション

	発表者	演題
1	姜友邦 (韓国国立中央博物館)	統一新羅初期の様式的変化 (Stylistic Changes in Buddhist Sculpture in Early Unified Silla)
2	紺野敏文 (慶応義塾大学)	奈良時代後半から平安時代初期への転換期の諸問題—木彫の成立に関して (Problems in the Transition from Nara to Heian Sculpture: The Beginnings of Wood Sculpture)

3	三宅久雄（東京国立文化財研究所）	浄土宗成立期における彫刻界の動向（Trends in Sculpture at the Time of the Establishment of the Pure Land Sects）
---	------------------	---